

SYMPOSIUM

潜伏の地の煉瓦聖堂

# カトリック今村教会の歴史と建築

— そして福岡教区・日本の教会建築

2026年10月12日（月・祝） 13:00–16:45 開場 12:30

会場

カトリック大名町教会 1階講堂

資料代

500円 事前申込不要



カトリック今村教会 1913年（大正2年）竣工／鉄川與助 設計・施工／国指定重要文化財 — 2024年より保存修理工事中

福岡県大刀洗町・今村は、**潜伏キリシタンの系譜**を受け継ぐ地。信徒たちが司祭とともに建てた煉瓦造の聖堂を、2024年に始まった保存修理を契機に**修理・歴史・建築**の各分野から捉え直し、教会建築の継承を考えます。

## — プログラム / PROGRAM

### 13:05 今村教会の修理事業

大川畑博文（文化財建造物保存技術協会／重要文化財今村天主堂ほか7基建造物保存修理工事主任）

### 13:35 19世紀の今村教会 — フランス人宣教師書簡から再構築する、信徒発見から初代教会堂建設への道のり

安藤智子（西南学院大学准教授）・福島綾子（九州大学准教授）

### 14:50 カトリック福岡教区の黎明期を支えた大工たち

山田由香里（長崎総合科学大学教授）

### 15:15 近代日本のカトリック教会建築

福島綾子（九州大学准教授）・三宅理一（金沢建築館館長）・土屋和男（常葉大学教授）

### 15:55 コメント & 全体ディスカッション

コメント：太記祐一（福岡大学教授）